

令和2年9月4日

実習実施者
監理団体 各位

外国人技能実習機構

「新しい生活様式」を踏まえた、技能実習生に関する
新型コロナウイルス感染症の感染防止策について（再周知）

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は全国的に増加傾向にあり、一部地域では感染拡大のスピードが増しています。

集団感染も発生している中、集団で仕事や生活を行っている技能実習生の感染予防を徹底することが重要となっており、技能実習の実施にあたり、技能実習生が働いたり生活をしたりする場において、基本的な感染予防を徹底いただくよう、引き続き配慮をお願いします。

その際、特に次の点について、入国後講習の場や朝礼の場で、別添資料も活用いただきながら、技能実習生にも丁寧に説明していただくようお願いいたします。

【別添資料】

「技能実習生の皆様へ 新型コロナウイルス感染症の予防のため、注意すること」

○ **職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防、健康管理の強化を図ってください。**

- ・実習実施者が感染予防対策等を徹底するよう、改めて周知をお願いします。
- ・感染予防対策等を行う場合には、「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」などを活用して下さい。

(参考)

厚生労働省ホームページ

「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」：<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000657476.xlsx>

- ・技能実習生の毎日の体調を確認し、発熱や風邪の症状（咳、喉の痛み、倦怠感）など体調がいつもと異なる場合は技能実習指導員や生活指導員等すぐに連絡するように説明してください。保健所や帰国者・接触者相談センターに連絡し、その指示に従って下さい。また、体調不良者と他の者ができるだけ接触しないように配慮してください。

○ 技能実習生が共同で生活している場合には、以下のことに気をつけて、感染防止策を徹底してください。

- ・技能実習生に別添資料を使い、読み上げるなどして丁寧に説明して下さい。朝礼の場や生活指導を行う際に実習生が理解できているかなど確認するなど感染防止策を徹底して下さい。
- ✓ こまめな手洗い（30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う（アルコール手指消毒薬の使用も可）、咳エチケットの徹底、居住スペースのこまめな換気をしてください。
- ✓ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空けてください。
- ✓ 会話や食事の際は、可能な限り真正面を避け、横並びで座ってください。また、食事の際は、大皿は避けて、個々のお皿から食事をとるようにしてください。
- ✓ 他の技能実習生と相部屋の場合は、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置したりするようにしてください。さらに、寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしてください。
- ✓ 他の人と共有する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にしてください（手ふきタオルを分けるなど）。
- ✓ 複数の人の手が触れる場所（エレベーターやトイレなど）や部屋の設備（リモコン、冷蔵庫、照明スイッチ、ドライヤーなど）を定期的に消毒してください。
- ✓ 手や口が触れるようなもの（コップ、箸、スプーンなど）は、使うたびに適切に洗浄や消毒をし、または使い捨ての物を利用してください。
- ✓ 風呂場を複数人で利用している場合は、同時に入浴することを避けるなど、一度の利用人数を少なくしてください。

（参考：「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」（第1版））

<https://www.jcha.or.jp/admin/app/webroot/files/upload/5ed718e1-b1dc-4620-a362-4ceb963c4eee.pdf>

○ 熱中症を予防するため、以下のことに気を付けてください。

- ✓ 熱中症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整するなどの方法で、暑さを避けられるようにしてください。
- ✓ 気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意です。屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合にはマスクをはずしてください。

- ✓ 熱中症のリスクがある場合は、重い物を持つなどの身体への負担が大きい作業を避けるとともに、こまめに休憩をとるようにしましょう。また、屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、適宜マスクをはずして休憩を取りましょう。
- ✓ のどの渇きを感じなくても、作業前後及び作業中において、定期的に水分及び塩分を摂取するようにしましょう。
※マスクで口が覆われることにより、のどの渇きを感じにくくなる場合があります。
- ✓ 高温多湿の場所で作業を行う場合、睡眠不足、体調不良、前日の飲酒や朝食をとっていないこと等が熱中症の発症に影響を与えるおそれがあることに留意の上、日常の健康管理を行いましょう。
- ✓ 吐き気やめまいを感じるなど体調が悪そうだと感じた時は、すぐに技能実習指導員や生活指導員等に申し出るとともに、体を冷やす、水分補給をするなどしてください。そのほか、体調が優れない時は遠慮なく技能実習指導員や生活指導員等に申し出て、自宅で静養してください。

(参考)

外国人技能実習機構HP [熱中症対策特設ページ]※各種リーフレットを各言語等に翻訳しておりますので、技能実習生に対する周知にあたり、ご活用ください。

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

▷厚生労働省HP

熱中症関連情報 [厚生労働省の取組、報道発表資料・関連通知、など]

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/

職場における熱中症予防対策 [学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報]

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

「健康のため水を飲もう」推進運動

<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/>

▷環境省

熱中症予防情報 [暑さ指数（WBGT）予報、熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレットなど]

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

▷気象庁

熱中症から身を守るために [気温の予測情報、天気予報など]

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kurashi/netsu.html>

早期天候情報

<http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

▷消防庁

熱中症情報 [熱中症による救急搬送の状況など]

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html